

“ 身近な薬草 ～ Vol.11 ”



カキ 科名：カキノキ科

柿(カキ)の蒂(へた)を食べた後に集め、そのまま日干しにして乾燥させます。

これを生薬の柿蒂(してい)と言います。柿(カキ)の薬効は蒂(へた)を嘔(しゃっくり)止めに用いることです。

長く続く嘔(しゃっくり)に苦しむことがある時は、柿(カキ)の蒂(へた)を煎じて飲んでいたそうです。

柿蒂(してい)を5～10gを刻み、水0.3リットルを加えて煎じて半量まで煮詰め、

煎じ汁を発作時に温めて服用します。

飲みにくいとは思いますが、効き目が良く、「げっぷ」も止める事ができるそうです。